

## 1.3 事業対象地の状況

### 1.3.1 地形および水系

- 青梅の森の地形は、黒沢3丁目と根ヶ布1丁目・2丁目および勝沼2丁目を分ける主稜線<sup>※2</sup>が南北に伸びている。この主稜線から東側に複数の枝尾根が走り、その間に北谷津や南谷津など複数の谷津が入り込むという構成である。主稜線の西側は、黒沢川に向かって急峻な地形で、湿地帯や平場が少ない。

標高は、最高地点が約295メートル、最低地点が約185メートルで、概ね110メートルの標高差がある。

地形の傾斜は、青梅の森の北側および西側に急傾斜地が分布し、南側および東側に比較的緩やかな斜面や平坦地が分布している。谷津<sup>※3</sup>部の湿地帯や一部の尾根沿いの平場を除いて急峻な地形になっている。
- 水系は、西側に一級河川の黒沢川、東側に準用河川の根ヶ布川、南側に普通河川の柿沢川が流れ、根ヶ布川と柿沢川は一級河川の霞川に合流している。青梅の森内には、黒沢川に注ぐ大日沢と霞川に注ぐ柿沢川の源流があるほか、北谷津や南谷津などの谷津部から流れ出す水路が根ヶ布川に注ぎ込んでいる。

※2 稜線：山の峰と峰を結んで続く線。尾根。

※3 谷津：低地。たに。低湿地。

